

平成25年12月19日発行
常総市水海道天満町2472
☎23-2233 FAX23-2234

社会福祉法人常総市社会福祉協議会

市民・福祉センター「ふれあい館」内

<http://www.joso-shakyo.jp>

E-mail info@joso-shakyo.jp

ホームページを開設しています。ご覧ください。

市民の広場で開催！ふくし祭り 関連記事P8



もくじ

福祉出前講座	2
北から南から、社協支部通信	3
いってみてきいて	4
共同募金まちがいさがし	4
いんふおめーしょん、地域のたまり場	5
ちょっとおじゃまします、社協行動原則	6
交通遺児の方へお知らせ	7
あなたのハート、さんぽみち	7
ボランティア・市民活動ひろば	8

ワンショットコーナー



スノードームを作ったよ！
(三坂児童館工作教室)



森下町子ども会の皆様のご協力
で街頭募金を実施しました。
(うおまつ水海道店前)



(菅生小)

操作の仕方や利用者の気持ち
が分かりました。



(絹西小)

手話で「小学校」

ふくしの体験 お届けします！

ご活用ください、福祉出前講座

こんな講座があります！

- ・車いす体験・車いす介助講座
- ・目かくし歩行・ガイドヘルプ講座
- ・インスタントシニア（高齢者擬似）体験
- ・手話講座
- ・点字講座
- ・家庭介護講座
- ・介護保険講座
- ・シルバーリハビリ体操

※ インスタントシニア体験は1人500円の費用がかかります。



福祉出前講座は、高齢者や障がい者に「いつでも、どこでも、だれでも」手を差し伸べることが出来る地域づくりを目指し、高齢者や障がいのある人の立場になって福祉について考えてみようというものです。

各講座の体験を通じて、高齢者や障がい者の立場を理解し、お互いに助けあうことを考えてみる良い機会になるはずです。

学校、企業、自治会、グループなど5人以上集まればご利用できます。授業や研修などにぜひご活用ください。

お問い合わせ・ご相談は社協本所
(☎ 2312233) まで



社員同士で障がいを持つお客様への介助方法を学びました。
(関東鉄道株)



福祉出前講師募集中！

車いす体験などを指導する講師を募集しています。
詳しくは社協本所までお問い合わせください。

私は福祉関係の専門学校に勤務していますが、もっと小さな子どもたちの福祉の芽を育ててみたいと活動を始めました。

今までたくさんの子どもの輝く目にふれあい、逆に教えられることもあり、やっていて良かったと感じます。また、体験後に「これからは障がいを持つ方に会ったら、自分からお手伝いをしたい」という声を聞くと本当にうれしくなりますね。

指導者



福祉出前講師
千葉 みつ子さん
(向石下)

お客様には、車いすの方や視覚障がいの方もいらっしゃるので、常総線全域の社員に正しい介助方法を知ってもらいたいと相談しました。

3日間にわたり、駅構内で体験を行い、介助の基本を学んだ後は、社員から「今までお客様に不安な思いをさせていた」などの声もあがりました。お客様の立場を考える大変貴重な時間でした。

体験者



関東鉄道株
水海道駅長
横関 孝一さん

体験してみても
指導してみても

気心が知れた仲間と楽しく活動

常総市消費者連絡協議会 石下地区



▲楽しく仲間と活動しています。



の諸制度などの習得に励んでいる方々です。また、それと並行し、アルミ缶収集の全収益金を地域に寄付する活動もずっと続けています。その寄付金は、車いすや介護用ベッド、石下中と石下西中の吹奏楽部の楽器購入、東日本大震災の義援金などに使われました。

「アルミ缶収集は会員だけでなく、近所の方たちも協力してくれています。まさに地域ぐるみの活動ですね」と明るく語る増田会長。

「でもね…」今年の4月、半年かけて集めたアルミ缶が全部、心無い人に盗まれてしまうという残念なことがあったそうです。会員の皆さんはとてもがっかりしていましたが、「今度は鍵付きの倉庫で保管よ!」と気持ちを入れ替え再始動。

「気心が知れた仲間との活動がとても楽しい」と笑顔で語る皆さんから、元気をたくさんいただきました。

広報委員 大津 礼子

「これはいくら?」「300円でいいんじゃない」

和気あいあいと楽しそうな声が響く公民館の一室。11月10日に開催されたふるさと祭りのバザー出品物の値札付けに精を出す「常総市消費者連絡協議会石下地区」の皆さんを訪ねました。

消費者連絡…?と思われる方も「石下町消費者友の会」と聞けばピンとくる方も多いのでは。

名称は変わりましたが、30年以上前から消費生活の安定向上を図るため、商品知識や消費者保護

社協支部通信

社協水海道
元町支部

現在、社協には27の支部があります。より地域に密着した福祉活動を進めるため、様々な事業を行っています。

社協三喜支部

いっしょに食べてしゃべって、みんな笑顔に
～^{まるも}お楽しみイベント～



▲手作りの食事で話もはずみます。

元町公民館で地域住民の交流を深めようと、毎年恒例の「^{まるも}お楽しみイベント」が開催されました。本格的な鮎の塩焼や手作りの焼きおにぎりをおしゃべりしながらいっしょに食べ、午後は輪投げで交流を図り会場は笑顔がいっぱいでした。

鈴木支部長は、さらなる地域のつながりができることを願い「若い人も参加してくれたらいいのになあ」と話していました。

地域のふくしを知ろう!
～支部役員研修会～

上蛇町にある「特別養護老人ホームよしの荘」へ視察研修に行きました。施設の概要や入所基準などの説明後、「年間に何人入所できるのか」「入所の緊急度が高い人の基準は?」などの質問に施設長から丁寧に答えていただきました。

参加者は「具体的な料金を聞くことも、施設内を見ることもなかなかできないので、とてもいい機会だった」と話していました。



▲感染症予防のため、全員マスク着用で見学です。

広報委員の

いこみこま

皆さまから多くの善意ありがとうございました
 赤い羽根共同募金運動



今年も10月1日から赤い羽根共同募金運動が始まりました。市内では大型小売店前や市が主催する各種イベントなどにおいて街頭募金活動が展開されました。

10月5日午後4時から、小雨の降る中、アピタ石下店において実施された街頭募金活動に参加してきました。

アピタ店での募金活動の中心的役割を担っているのが、ガールスカウト茨城県第40回の少女たちです。今回は小学生9名と中学生3名が参加協力していました。

買い物を終えて店から出て来たお客さんに、「ご協力をお願いします」と笑顔と大きな声で熱心に募金活動に取り組んでいました。募金に協力くださった方には赤い羽根を配ったり、子どもたちには風船を手渡したりと大忙しの活躍でした。

ガールスカウトの岡田玲子団委員長は、「安心して暮らせる地域づくりへの手助けと、スカウトの子どもたちに思いやりの心を育ててあげたいと思い、毎年協力してい



▲アピタ石下店前街頭募金。皆さまの温かいお気持ちに感謝します。

ます」と話していました。また、参加した子どもたちは、「地域のために少しでも役に立つことがうれしい」と笑顔で答えてくれました。募金された多くの方は、「何らかの形で社会貢献をした」と思っているのだと強く感じました。

皆さんの善意に感謝しつつ、今後この地域がますます良くなることを願い、帰路につきました。

広報委員 寺田 光春

まちがいが見つかるかな！？

共同募金まちがいさがし

共同募金活動のひとつ、「歳末たすけあい運動」が始まりました。(12月1日～31日)
 皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

右の二枚の絵を比べてみると、間違っているところが7つあります。間違いを見つけたら右下の絵に○を付け、切り取ってハガキに貼り付け、①氏名②住所③ふくしJOSO28号で一番興味のあったコーナー④ふくしJOSO28号の感想をお書きの上、下記宛先までお送りください。

抽選で5名の方に、心身障害者福祉センター手作りの「畳コースター」をプレゼント！こちらは入山さん(P6記事掲載)から材料の寄付を受けて作っています。

締め切りは1月17日(金)です。当選の発表は発送をもって代えさせていただきます。

なお、いただいた個人情報、粗品送付の目的以外で使用することはありません。



▲景品の「畳コースター」

〒303-0034

常総市水海道天満町2472

常総市社会福祉協議会 広報担当

赤い羽根共同募金について詳しく知りたい方は
www.akaihane.or.jp または「赤い羽根」で検索。



キリトリ



心身障害者福祉センター
TEL 22-9400

利用者を 募集しています

福祉センターでは、市内にお住まいの障害者手帳をお持ちで、簡単な作業ができる方を募集しています。

まずは、お電話にてお問い合わせの上、見学にいらしてください。



◀ チラシの袋入れなどの作業を行っています。

三坂児童館
TEL 22-7937

いろんな おもちゃで遊びましょ

三坂児童館では、幼児親子を対象に「おもちゃの広場」を開いています。手作りのおもちゃ、木のおもちゃなど、様々なおもちゃがあり自由に遊べます。子どもの成長に「遊び」は不可欠。おもちゃは、子どもの「遊び」を豊かにしてくれます。どうぞご利用ください。



◀ たくさんのおもちゃで楽しんでます。

開催日時 毎週火・木（10時～正午）
（水海道児童センターでも毎週火・金開催）



地域のたまひ場 紹介ひろば ⑬

すみれ会

“ふれあいサロン・地域のたまひ場・福祉カフェ”など地域での交流を目的とした活動を紹介するコーナーです。
今回は玉地区にあるサロンにおじゃましました。

「すみれ会」は、平成3年頃、斉藤ときさんが発起人となり始まったサロンです。斉藤さんはなんと90才！今日も自転車に乗って元気にやってきました。

発足当初、集まる日には「いいあんべえ」に決めていましたが、会を重ねるうちに、大師様の縁日にあたる21日に自然に集まるようになりました。会費はありませんが、大師様にお賽銭をお供えするのが習わしになっています。

毎月、石下宮田地区公民館に集まり、午前10時頃から午後4時頃まで楽しい時間を過ごしています。一日何をして過ごしているのか尋ねると「おしゃべり」との返事。

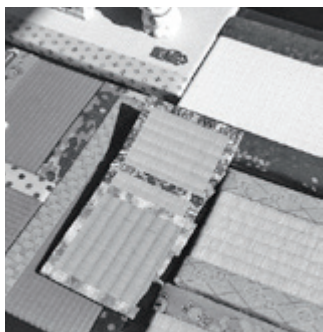
それが一番楽しいのだそうです。それぞれが持ち寄った手作りの煮物やお菓子、じゃがいもやさつま芋など、テーブルの上は食べ物でいっぱいでした。



▲ みんなでおいしいものを持ち寄りおしゃべりを楽しんでいます。

発足後20年を超え、12人いた仲間も7人になってしまいました。けれども、気の知れた仲間たちと気兼ねなく過ごすことが一番と、地域の人たちとのふれあいを大切にしています。

これまで、旅行に出かけたり、お花見会などしてきました。会の皆さんは、これからも無理せず「いいあんべえ」にやっていきたいと話していました。



▲畳からこんなに素適なコースターができました！

「実際に教室を開いてみた感想は？」
一番は子どもたちの笑顔ですね。
「できたあ」と喜ぶ子どもたちの姿を見ると、始めて良かったなと実感しました。

「畳コースター作り教室」を始めたきっかけは？
近年、畳から離れがちな生活が増えていますが、日本の文化に係が深い畳の良さを、今の子どもたちに伝えたくてこの教室を始めました。

子どもたちにも「和」の心を

広報委員の
ちよつと
おじゃまします！

日本の伝統文化の「畳」を作る工程で処分されるイ草を利用して、「畳コースター作り」を子どもたちに教えている三坂町の入山さおりさんのお宅を訪問しました。



▲入山さおりさん（三坂町）

感じます。また、実際にイ草を手に取り、日本の「和」の文化に触れてもらえることはうれしいですね。

今後の活動について

今は三坂児童館をはじめ、児童センターや学童クラブなどで活動していますが、手探りで始めた教室にも手ごたえを感じています。今後は大人向けの教室も考えており、もっともつと活動の場を広げていけたらと思います。「親子でいっしょにコースターを作る」なんて実現できたら最高ですね！

畳は「和」のインテリア要素には最高の素材ですね。小物一つでも何だか心に安らぎを感じました。

広報委員 片野和弘

問い合わせ・連絡先

TEL 22-7101（入山宅）

社協の行動原則⑤

社協は、社会福祉法で「地域福祉の推進を図る団体」と位置付けられています。

社協活動の更なる活性化を図り、社協職員としての価値観や基本的な考え方を共有し、協力して地域福祉を進めていくために、6つのテーマで「**社協行動原則**」をつくりました。

テーマ⑤【自己研鑽、チームワーク、チャレンジ精神】

私たちは、自己研鑽を重ね、職員同士のチームワークと部署間の連携をすすめ、チャレンジ精神をもって業務を遂行します。

- 社協職員としての自覚をもち、自己研鑽に努め専門性を高めます。また、職員同士と部署間の情報共有に努め、互いの役割を認識し協働しあえる環境をつくり、チームワークにより業務を遂行します。
- 常に地域の福祉問題に目を向け、チャレンジ精神や先駆性をもって業務をすすめます。また、自らの業務の評価と改善に努め、コスト意識をもって効果的で効率的な業務を遂行します。

受賞おめでとうございます

長年にわたり社会福祉事業に功労した下記の方々が、茨城県社会福祉大会において表彰されました。ますますのご活躍を期待しています。

茨城県知事表彰

猪瀬美江 戸澤喜美江 谷田部うめ
高野典子 小川和子 仲松絹子 若月 博

茨城県社会福祉協議会会長表彰

小川嘉昭 石塚法子 金澤節子 渡辺美津子
石川栄子 古谷裕子 飯田美砂子 中村恭子
戸崎義江 鈴木 稔 幕田好雄 植竹 治
草間みち子 水越たかね 増田喜久子 倉田豊二
古矢俊子 沼尻正子 高橋文子 堀越愛子
点訳サークルてんてん(団体) まんまる玉(団体)
(順不同 敬称略)

社協の各連絡先

社協本所

TEL 23-2233
FAX 23-2234

介護事業所

TEL 25-1001
FAX 25-1002

石下支所

TEL 30-8789
FAX 30-8790

予約型乗合交通（ふれあい号）

予約受付

TEL 30-4891
FAX 42-7911

三坂児童館

TEL/FAX
22-7937

水海道児童センター

TEL 23-1902
FAX 23-1903

心身障害者福祉センター

TEL 22-9400
FAX 22-9411

児童デイサービスセンター

TEL 22-5352
FAX 22-5354

ホームページ

<http://www.joso-shakyo.jp>

みんなに伝えたい
あなたの

「社会福祉のために役立ててください」と
皆さまから社協へ寄せられた善意は次のとおりです。
ありがとうございました。

平成25年9月6日～平成25年12月5日（敬称略）

現金	物品
利根コカ・コーラボトリング(株) 6,729 円	レイト水海道・守谷店 お菓子
(株)オリエンタル商事 38,784 円	小暮理恵子 車いす
水海道二高家庭クラブ 5,000 円	匿名 書き損じはがき、使用済み切手、紙オムツ
曼珠沙華の地元公演を実現する会	はがき、切手、靴下、ハンカチ
会長 中島ゆき子 61,802 円	テレホンカード、図書カード
豊岡町砂浜ゴルフ会 10,000 円	大塚クリニック、第一環境(株)常総事務所、
ネットワークー常総 14,000 円	日本電磁工業(株)日親会、株式会社イシイ、
匿名 16,125 円	株式会社園部製作所、下十花さくら会、
	秋葉建設株式会社、荒木秀子
	以上、使用済み切手



▲曼珠沙華の地元公演を実現する会の
皆さんから寄付をいただきました。

たんぽぽ



2013年もあと少し。今年もいろいろなことがありました。うれしいこと、つらいこと、悲しいこと、楽しいこと…を含めた平凡な毎日。子ども頃は、「何かおもしろいことないかな」と思う毎日だったのに、不思議なことに大人になると何気ない毎日が愛おしく大切に思えるのです。それは多分、ここ数年続く自然災害の猛威を強く感じていけるせいかもしれません。「終わり良ければ…」と言いますが、年の瀬は笑って過ごしたいと思います。そして来る年は、どうぞ穏やかで笑顔があふれる平和な日々でありますように…☆。

広報委員 植木 邦江

交通遺児（保護者）の方へお知らせ

入学祝金を贈ります

交通事故により、父母のどちらか、または両親を失った児童に対し、入学祝金を贈ります。

◇贈呈対象者

市内にお住まいで、平成26年4月に保育所・保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校・高等専門学校・短大（専門学校を含む）・大学に入られる方。

◇贈呈金額

一人につき3万円

◇連絡・問い合わせ先

対象となる保護者の方は、左記までご連絡ください。

社協本所（TEL 23-2233）

※贈呈時期は、4月下旬頃の予定です。

◇申込締切

平成26年3月31日（月）

ボランティア・市民活動

ボランティア・市民活動の
いろいろな情報を紹介します。

ひ る ば



▲どれにしようかな♪ (橋本町民会館)

楽しみがまたひとつ！

～買い物支援事業～

ひとり暮らしの高齢者などを招待して、ボランティア手作りの食事とレクリエーションで、楽しい時間を過ごしてもらうお食事会。現在、市内12会場で開催されています。

このお食事会の楽しみの一つとして、野菜や果物などが買える『買い物支援事業』が4会場で始まりました。皆さんは、思い思いに商品を手にとって「ここで買い物ができる助かったよ」と笑顔で話していました。

手話を使っておしゃべり!!

～中級手話講習会～

10月から全10回にわたり、社協本所で中級手話講習会を開催しました。聴覚障がい者の生活について理解を深め、基本的な日常会話を学ぼうと13名の参加がありました。

講習会では、手話通訳者の役割やろう者の生活についての講義や、参加者からリクエストがあった病院や買い物の際の手話など、場面に沿った会話を学ぶことができました。



▲手話で伝言ゲーム

伝えようやさしい心 広げようふくしの輪

～第29回ふくし祭り～



▲どのパンが人気かなあ？
(かしわ学園の順位当てクイズ)

楽しみながら地域の福祉やボランティアについて皆さんに知ってもらおうと、市民の広場で『ふくし祭り』を開催しました。

市内の福祉施設やボランティア団体など17団体が参加し、活動PRや特製品の販売、クイズや体験をしながら会場内を回る「いろいろ体験スタンプラリー」などを行い、多くの来場者でにぎわいました。また、参加団体もお互いの活動について、情報交換を行い、交流ができるふくし祭りとなりました。